

新規称号取得者紹介コーナー

(令和2年9月1日～令和3年2月28日)
敬称略 本人から承諾を受けている方を掲載しています。



学長奨励賞

学長奨励賞 (6000単位) 前川原利雄 (旭川市)
学長奨励賞 (5000単位) 平川 省三 (滝川市)
学長奨励賞 (5000単位) 山内ヒメ子 (札幌市)
学長奨励賞 (4000単位) 坂本 春恵 (音更町)
学長奨励賞 (1000単位) 及川 直樹 (音更町)

ほ：ほっかいどう学 地：地域活動キ：キャリアアップ 環：環境・生活 健：健康・スポーツ 教：教養 ジ：ジュニア

博士 (300単位)

坂本 春恵 (音更町・地)
山内ヒメ子 (札幌市・地)
牧田 武治 (札幌市・地)
大久保恵子 (札幌市・環)
大平 信貴 (札幌市・教)
阿部 宣昭 (江別市・健)
大庭 雄一 (札幌市・ほ)
前川原利雄 (旭川市・健)
古屋 道義 (旭川市・キ)
小貫 繁雄 (江別市・ほ)
榎本 聡子 (札幌市・地)

修士 (200単位)

及川 直樹 (音更町・キ)
藪崎 孝一 (札幌市・地)
山内ヒメ子 (札幌市・地)
中川 誠 (江別市・ほ)
鈴木 雅彦 (当麻町・健)
牧田 武治 (札幌市・地)
大平 信貴 (札幌市・教)
阿部 宣昭 (江別市・健)
前川原利雄 (旭川市・健)
松下 要一 (根室市・教)
成田 孝男 (江別市・環)
小貫 繁雄 (江別市・ほ)
榎本 聡子 (札幌市・地)

学士 (1000単位)

千葉 節子 (美幌町・ほ)
藪崎 孝一 (札幌市・地)
笈川 浩一 (札幌市・ほ)
瀧谷 梅雄 (札幌市・ほ)
牧田 武治 (札幌市・地)
友杉 正明 (札幌市・教)
阿部 宣昭 (江別市・健)
前川原利雄 (旭川市・健)
中川 誠 (江別市・教)
三野 妙子 (帯広市・キ)
成田 孝男 (江別市・ほ)

ジュニア学士

穴戸 奏太 (旭川市)
高橋 優寿 (深川市)
中村 美宵 (滝川市)
金田 羽未 (釧路市)
黒田 怜 (札幌市)
智和 洋明 (足寄町)

ジュニア修士

山田 隼大 (札幌市)

称号取得者 (延べ人数)

学士 **1,044**人
修士 **756**人
博士 **620**人
学長奨励賞 **265**人



道民カレッジ連携講座 **3,874** 講座
※ 3年2月末日現在

道民カレッジ生数 **34,567** 人
※ 3年2月末日現在

コロナ禍ですがたくさんの講座と連携することができました。

道民カレッジ生で住所変更等があった時は、ご面倒でも事務局あてお知らせください。

カレッジだより Vol.39 (2021年4月発行)
編集・発行 道民カレッジ事務局
【(公財)北海道生涯学習協会】
☎060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7ビル9階
TEL:(011)204-5780 FAX:(011)281-6664

College news

道民カレッジ

2021 Apr.
vol.39

カレッジだより

「生涯におたる学び」と「地域で活躍するための学び」を目指して

道民カレッジホームページ活用方法5選 動画を公開しました



動画はこちら！
チャンネル登録お願
いします！
check!



道民カレッジHPの活用方法を5つご紹介する動画を制作しました。内容は以下です。

- 1.ピックアップ講座とは
- 2.インターネット講座とは
(レポートのダウンロード方法、動画を見ながらレポートを入力する方法)
- 3.講座の探し方のコツ
(キーワード検索のコツ、オンライン講座の探し方)
- 4.称号取得者一覧の中から自分の名前を検索する方法
- 5.道民カレッジ手帳のダウンロード方法
(印刷時のサイズや用紙の設定方法)

最後に、スクリーンショットと保存を同時にやる方法をご紹介します。是非、この動画を見て、道民カレッジHPをフル活用してください！！この講座を視聴しスクリーンショットを提出するとキャリアアップコースの1単位を認定しますので、この講座のスクリーンショットを撮って事務局まで送ってください。「スクリーンショットをまだやったことがない」という方でもこの講座を見ればやり方がわかります。是非チャレンジしてみてください。

この他にも、「こんな内容について知りたい」という要望がありましたら事務局までご意見をお寄せください。

情報交流広場 (まなびの広場) の感染症対策



非接触式サーマルカメラを導入しました!!

その他にもアクリル板の設置や、オンライン講座受講ブースの設営をしています。安心してご利用いただけます。



↑自宅にインターネット環境がない方でもオンライン講座を受講できるブースを設置！どなたでもご利用いただけます。

道民カレッジ主催講座 令和2年度地域活動実践講座を実施しました。



第1回：令和2年9月25日（金）
in北見市

参加者の地域活動が多岐にあたり、事務局も大変驚きました。今後皆さんにご紹介していただければいいなと思っています。

この講座は、地域活動の交流をととして、道民カレッジ生の地域活動への参画を促進するものです。地域活動インターネット講座を視聴し、地域で活動している道民カレッジ生の取組を知るとともに、自身の活動内容を発表し、互いに交流を行いました。



第2回：令和2年11月22日（日）
in旭川市

新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加者を市内在住者に限定し開催しました。

この講座では、地域で茶道を指導している講師から薄茶の飲み方や菓子器の作法、座敷での立ち居振る舞いなどを学ぶとともに、体験し、茶道を通して地域活動を行っている様子や成果と課題などについて意見交流を行いました。

【連載】「私のこの一冊」コーナー

今号からスタートする連載企画「私のこの一冊」はオススメの本を紹介してもらうコーナーです。様々な方に登場していただく予定です。お楽しみに～！！

初回は合田一道氏のオススメの一冊を教えてくださいました！

北の開拓を知る基礎書
榎本守恵著『侍たちの北海道開拓』



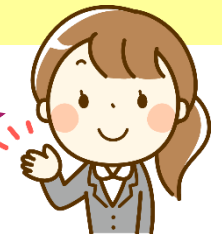
ノンフィクション作家
「ほっかいどう学」を
学ぶ会顧問
合田 一道 氏

明治維新は多くの矛盾を孕んで成り立ったといえる。もっとも難題とされたのが、戊辰戦争で敗れ「朝敵」の烙印を押された東北地方の武士たちの処遇だった。新政府はこれら武士団を未開の北海道へ送り込み、開拓を担わせたのである。この時期、樺太はロシアの政策に翻弄されており、北方の脅威に対抗する狙いもあった。『侍たちの北海道』はこうした特殊性を説きながら、奥羽越列藩同盟盟主の仙台藩に降りかかった録高の大幅削減に基づき、一門一家の領主と家臣が、悲痛な覚悟で未開の北海道へ移住する経過を記述している。まず仙台藩巨理領の伊達邦成の有珠（伊達市）開拓、伊達邦直の当別開拓、次に片倉家の分流と石川家の角田移住など。そして会津藩士の余市開拓、稲田騒動で静内に転身した人たちと、章立てでそれぞれの土魂を賭けた屈辱の北辺の開拓を綴っている。もともと北海道は蝦夷地と呼ばれ、松前藩が治める道南地域のみは和人地で、他はアイヌ民族の大地だった。新政府は天皇が政治の舞台に立つ段階で、この地を日本領にした。これによりアイヌ民族は想像を絶する難渋の道を進むのである。もし維新の段階で蝦夷地が存在しなかったら敗者の始末をどうしたであろうか、とってしまう。北海道の開拓を知る上での基礎的な本と言える。

生涯学習推進センター附属視聴覚センターの 問い合わせ先が変わります。

Tel.011-204-5781
〒060-0002
北海道札幌市中央区北2条西7丁目
北海道立道民活動センター（かでる2・7）8階

まなびの広場
レファレンス
業務は引き続
き実施します



令和3年度道民カレッジ実施内容変更について

No	変更内容	備考							
1	<p>称号申請に必要な必修単位数が8単位から2単位に変更になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2単位の内訳は「ほっかいどう学必修」「地域活動必修」どちらでも構いません。 これまでに取得した必修単位も称号申請に使用することができます 	<table border="1"> <tr> <td>必修単位</td> <td>2</td> <td rowspan="3">合計 100 単 位</td> </tr> <tr> <td>専門コース</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>選択単位</td> <td>38</td> </tr> </table>	必修単位	2	合計 100 単 位	専門コース	60	選択単位	38
必修単位	2	合計 100 単 位							
専門コース	60								
選択単位	38								
2	<p>指定講座を廃止し、必修単位を取得できる講座は道民カレッジ主催講座のみとなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 連携講座はすべてコース単位に認定します。（必修単位を取得できる連携講座はありません。） 	<p>令和3年度に必修単位を取得できる講座</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学インターネット講座（令和元年度から3年度）6講座 地域活動インターネット講座（令和元年度から3年度）6講座 地域活動実践講座1講座 							
3	<p>地域活動実践講座はオンラインによる配信とレポート提出により単位を認定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 企業や民間団体と連携し地域活動に関する内容の講座を配信します。1レポート提出で地域活動必修1単位を認定します。 							
4	<p>ジュニアコースの単位認定がこれまでの1日1単位から1時間1単位に変更になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般およびジュニアどちらも1時間1単位の認定に統一します。ただし宿泊を伴う事業の場合は1日8単位を基本とし、活動時間と内容によって単位数を決定します。 	<ul style="list-style-type: none"> 連携講座（ジュニアコース）の受講により1時間につき1単位を認定します。 ジュニアコースで取得した単位は50%を一般に移行することができます。 							

連携講座のご紹介



三浦綾子記念文学館は、想定を遥かに超えたコロナ禍で、当館の事業も大きな影響を受けました。入館者数は一時期、例年の95%減にまで落ち込みました。その中で、文学講座をどうすべきか検討が続けられ、「何でも中止にしてしまうのはよくないのではないかと。開催の実現を模索しよう」という意見が高まり、過去に実績のあったオンライン配信で取り組むことになりました。6月27日は98歳の菱谷良一氏による講演会。最大限の感染予防対策をしましたが、無観客収録だからこそ可能となった稀有な事例とも言えます。文化活動の新たな取り組み方の道が開かれたように感じました。

函館市女性センターでは、令和2年12月19日（土）、親子でチャレンジ「ドールハウスを作ろう！」を開催しました。親子で協力して、ドールハウスのパーツを作りました。ドアや棚を塗ったり貼り付けたり、なんと花壇や家の前の芝生も手作りです。皆さん細かい作業を頑張っていました。終了後、参加者からは「少し手こずりながらも難しくなかったため、自分の手で作り上げることができたので良かったです。」「子どもが楽しくできました」「色を塗ったり芝生をつけたりとても楽しかったです。」などの声が寄せられ、皆さん満足の様子でした。

